

CHAPTER

2

たかはし修司 栃木県アジェンダ

## やさしさ・ふれあい

近年、医療技術が高度化・専門化する一方、現在の地域医療の実情は、がんや心疾患などの生活習慣病の増加や高齢社会の到来への対応さらには医師不足などの多くの課題に直面しています。

こうした状況の中で、全ての県民の皆さまが質の高い医療を効率的に受けられる体制を確立していかなければなりません。

また、本県の人口高齢者化の実情は、平成20年に県民5人に1人であった高齢者人口は平成27年には4人に1人、平成47年には3人に1人まで増えるといわれています。このような超高齢者社会において、明るく活力ある環境にしていくための仕組みづくりも必要です。

さらに、障がいをかかえる人、心に傷や痛みを持つ人誰もが、暮らしやすい地域社会づくりや子どもたちが目を輝かせて健やかに生まれ育つことができる環境づくりにも全力で取り組みます。

## やさしさを実感できる あたたかい絆社会をつくります。

### 地域医療体制の整備・充実

現在の5つの保健医療圏を分割し、各圏域の課題と将来の方向性を取りまとめた、新しい「圏域ビジョン」を策定し、県内の医療体制のきめ細かな整備・充実を図ります。

### 救急医療の機能分担と連携を促進

救急医療の適正利用を呼びかけるとともに医療機関に門前診療窓口を設置し、初期救急と二次救急の機能分担と連携を促進します。

### NICU退室後の受け皿を整備

NICU（新生児集中治療室）退室後の受け皿として、県内の重症心身障がい児施設の定員を増やすとともに、在宅療養を支援するための中間施設を整備します。

### 障がい者への支援の充実

障がい者に対する相談支援ネットワークを充実するとともに、障がい者就労支援事業所への支援強化を通じて、「働く」障がい者の工賃アップを図ります。

### 介護職員の待遇改善と介護人材育成

介護職員が誇りとやりがいを感じて働けるように、その正規雇用を促すとともに、待遇改善を行います。また、県立高校での授業などを通じて、介護職員の役割や魅力を伝えていきます。

たかはし修司 栃木県アジェンダ  
重点項目②

## 救える命は必ず救う

世界において、ワクチンで防ぐことができる病気は、公費で予防接種をするのが共通認識となっています。予防接種の接種機会を安定的に確保し接種率を向上させることは、感染症による患者の発生や死亡者の減少をもたらすなど、感染症対策上、非常に重要な役割を果たしています。しかし、栃木県の現状では、市町によって定期の予防接種率や任意の予防接種に対する助成状況に大きな格差があることから、次のような取り組みを進めます。

### 高齢者福祉への取り組み

地域における高齢者のための多様な住まいを確保するとともに、各種ボランティアによる一人暮らしの高齢者を見守るためのネットワークを整備し、高齢者福祉に地域ぐるみで取り組みます。認知症対策を推進するとともに成年後見制度の活用などを通じて、認知症高齢者の権利擁護に努めます。

### 子育てに対応できる保育サービスを充実

保育所の新設や定員増を促進するとともに子育てにおける多様なニーズに対応できる保育サービスを充実します。特に、体調不良や病氣中の児童に対する保育環境の確保に努めます。

### 児童虐待に迅速・的確に対応

児童福祉士の増員と資質の向上、多様な専門職の配置といった児童相談所の機能強化を通じて、児童虐待に迅速・的確に対応します。

### 犯罪被害者などへの支援

犯罪被害者やDV被害者の本人や家族の置かれている状況に即した、精神的・身体的負担の軽減や経済的支援に取り組みます。

### 自殺予防対策の推進強化

啓発活動に加え各種相談窓口を充実し、地域社会との連携強化などを通じて、自殺予防対策を推進し、必要な人材養成にも取り組みます。

#### 〈予防接種率の向上に向けた取り組み〉

定期の予防接種率を向上させるための市町の広報活動を県が支援します。

#### 〈予防接種の助成対象ワクチンの拡大〉

子宮頸がんワクチン・ヒブワクチン・肺炎球菌ワクチンに加えて、流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）ワクチン・水痘（水ぼうそう）ワクチン・B型肝炎ワクチンなどの各種接種についても県と市町による助成制度を設けることを提案します。